

開会のご挨拶



後山 尚久 先生
藍野学院短期大学 教授

1979年 大阪医科大学卒業
1981年 同大学産婦人科学 助手
1989年 米国オクラホマ州立大学生化学・分子生物学部門 教官
1993年 大阪医科大学産婦人科学 講師
1996年 同大学産婦人科学 助教授
2004年 The Editorial Board of American Journal of Chinese Medicine
2006年 藍野学院短期大学 教授

第13回東洋医学シンポジウムは、例年どおり日本東洋医学会学術総会に先駆けて開催されます。

本シンポジウムは西洋医学を中心に日常診療を行っておられる実地医家の先生方に、少しでもヒントになる漢方治療の実際をご紹介します目的で例年開催されています。

今回も5名のシンポジストの先生方からは、多くの先生方が日常、西洋医学で学んだいろいろな治療手段を駆使してもなかなかうまく治療が出来ないような症例に、漢方理論を応用することでいかにうまく治療することが出来るかをご紹介します。また、コメンテーターとして漢方ご専門の立場から峯 尚志 先生にもご参加いただいています。いずれの先生方も素晴らしい「癒し人」です。

日常臨床でよくご経験されるような症例を通して、東洋医学のすばらしさを再認識していただき、明日からの診療のご参考にしていただければ幸いです。